

＜アンケートの結果＞

○子供の評価が高い項目

- ・朝ご飯は、食べている。(100%)・まわりの人に進んであいさつをしている。(97%)
- ・学校をきれいにするため、そうじをしっかりとがんばっている。(96%)
- ・授業は、わかりやすく楽しい。(95%)・毎日、元気に楽しく学校に来ている。(95%)
- ・登下校の時、安全に気をつけている。(95%)・よく考えながら、相手の話を聞いている。(95%)
- ・自分や友だちを大切にしている。(95%)

○子供の評価が伸びた項目 (R1→R2)

- ・朝、昼、夜の歯磨き、ハンカチ準備、爪切りができています。(82→92%)
- ・授業で分からない時に先生に聞いている。(83→91%)・本をよく読んでいます。(63→72%)

○保護者の評価が高い項目

- ・毎日、元気に楽しく学校に行っていると思う。(100%)
- ・自分を大切にするとともに友達も大切にしていると思う。(99%)・朝食は、必ず食べている。(99%)
- ・登下校の安全に気をつけていると思う。(94%)

○保護者の評価が伸びた項目 (R1→R2)

- ・歯磨き等の生活習慣ができていると思う。(68→84%)・家庭学習の習慣化ができていると思う。(51→61%)

▲子供の評価が低い項目

- ①本をよく読んでいます。(63→72%) ②1、2年は、9時まで、3年以上は、10時までに寝ている。(80%)

▲保護者の評価が低い項目

- ③後片付けや物を大切にしている。(保護者：61%、子供：88%)
④家庭学習の習慣化ができていると思う。(保護者：61%、子供：88%)
⑤1、2年は、9時に、3年以上は、10時までに寝ている。(保護者：67%、子供：80%)

▲保護者の評価が下がった項目 (R1→R2)

- ⑥学校は、学校や子供の様子について家庭に知らせていると思う。(88→70%)
⑦学校と家庭、地域が連携していると思う。(97→80%)
⑧学校は、保護者の意見や相談をよく聞き、対応していると思う。(95→78%)
⑨担任は、学級や子供の様子について家庭に知らせていると思う(92→81%)。

＜次年度への志向＞

① 読書習慣の育成

- ・図書室内の新型コロナ対策や本の消毒を継続しながらも、改訂された国語教科書に関係のある図書の購入、町図書館との連携強化(町図書館の本を学級で活用できるように準備)、子供がどんな本を求めているのかの意見箱の設置、読書推進イベントの計画(現在「読書ビンゴ」に意欲的に取り組んでいる。)等、図書司書と連携を図りながら、全職員で図書室利用や読書への働きかけを共通実践していく。

②⑤ 就寝時刻の定着、インターネット等のルールづくり

- ・就寝時刻は、町全体で共通の目標(南関町子どもたちの「育ちのものさし」)として実践を進めている。学校でも、家庭でも、睡眠の大切さを発達段階に応じた指導に取り組み、生活リズムの定着につなげていく。
- ・「家庭でのルールがある(3年～6年のみ)」67%、「夜22時から朝5時までは通信機器を使用しない」77%という、心のアンケート(12月実施)の結果も受け、情報通信機器使用家庭内ルールについて、子供たちと一緒に考えていく。

③ 後片付けや物を大切に意識化・行動化

- ・学校では、日常指導の充実として、前期前半教育活動の反省から見えてきた本校の課題を各部会で協議し「めざす子どもの姿」を実現するには、各部会での取組の一つにして、担任を中心に全職員で同じ基準で取り組むことを再確認した。前期後半から、毎月の生活目標(時間を守る、整理整頓、礼儀、友だちと仲良く、感謝の気持ち、互いに大切にしよう、自分の成長等)と各委員会活動に関連させて、具体的なスキルアップポイントを設定し取組を進め、子供たちの意識や行動の成長につながっている。次年度も、未来の社会の変化に対応できる子供たちの資質・能力の育成に向けて全職員での共通実践を継続していく。

④ 子供が自ら取り組む家庭学習

- ・町「家庭学習の手引き」の共通実践のもと、各学年の発達段階に応じて、低学年から家庭学習の習慣化に向けた宿題及び自学の指導を継続していく。そして、子供たちのがんばりを丁寧に見取り、認め、励ましていく。できなかった問題や課題等に対しては、朝の授業開始前や昼休み等に丁寧に指導していく。
- ・学校として、①授業と家庭学習をつなげる。②子供のやる気を引き出す。③家庭学習について職員間で共通理解を図る。家庭として、①認め、ほめ、励まし、伸ばす。②やる気にさせる学習環境・ルールづくり。(熊本の学び推進プランから)に連携して取り組む。

⑥⑦⑧⑨ 学校と家庭の連携、五者(学校、子供、家庭、地域、行政)の連携

- ・新型コロナ感染症により様々な教育活動が制限される中、学校教育で目指す子どもの姿や日常の子供たちの様子について、学校・学級便りやホームページ(HPアクセス数、R2.4月:18,500→R3.2月末現在:50,000)、学級懇談会等を活かして積極的に情報発信を行い、家庭や地域との連携・協働につなげていく。
- ・保護者が学校の教育活動を参観される機会が減っている中、子供たちの成長、また子供の様子で気になることは、電話連絡や家庭訪問等により保護者との連携、早期対応に努める。